

タイトル	所蔵作品展 ^{デコ} こども工芸館[装飾]	
	DECO - Crafts Gallery for Kids from the Museum Collection	
会期	2008年7月17日(木)~9月23日(火・祝)	
開館時間	午前10時~午後5時 * 入館は閉館30分前まで	
休館日	毎週月曜日(7月21日、9月15日は除く)、7月22日(火)、9月16日(火)	
主催	東京国立近代美術館	
会場 (アクセス)	東京国立近代美術館工芸館 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1 Crafts Gallery, The National Museum of Modern Art, Tokyo	
	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分 東京メトロ東西線/半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分	
観覧料	一般 200(100)円 大学生 70(40)円 高校生および18歳未満、65歳以上、キャンパスメンバーズ、MOMATパスポートをお持ちの方、障害者とその付添者1名は無料 *いずれも消費税込。()内は20名以上の団体料金。 *割引・無料には、学生証、年齢のわかるもの、障害者手帳等の提示が必要。	
	美術館(徒歩5分)で開催中の各展覧会チケットでもご覧いただけます(観覧当日のみ)。 会期、開館時間等にご注意ください。 「カルロ・ザウリ展」(企画展ギャラリー) 本展初日~8月3日 「エモーショナル・ドローイング」展(企画展ギャラリー) 8月26日~本展最終日 「所蔵作品展 近代日本の美術」(所蔵品ギャラリー) 本展会期中の8月4日~8日以外	
無料観覧日	8月3日(日)、9月7日(日)	
お問合せ先(掲載用)	03-5777-8600 (ハローダイヤル) または http://www.momat.go.jp/ (ホームページ)	
イベント	ギャラリートーク	8月3日(日)・9月7日(日)午後2時~ 展覧会も無料日!
	デコパーティ	中学生以下を対象としたミニワーク。制作したミニワークは本展会期中、工芸館で公開予定。
	デコドリル	ワークシートを希望者に配布。
	デコハント	中学生以下を対象とした「セルフガイド」(大人の方には「活用のヒント」を用意)。 詳細は、P.2
	親子で タッチ&トーク	ボランティアスタッフによるガイド。 会期中毎週水・土曜日 午後2時~
	*上記のイベントはすべて参加無料(ただし、展覧会チケットが必要です)。事前の申込不要。 この他に、応募が必要な各種プログラムも受付中です! 各イベントの詳細は、 http://www.momat.go.jp/CG/kids/2008summer/index.html	
KIDS MOMAT (東京国立近代美術館の子ども向け鑑賞プログラム)を今年の夏休みも各館で開催します。 KIDS MOMAT2008の詳細は、 http://www.momat.go.jp/kids/KIDS-MOMAT2008/index.html		
プレゼント	展覧会をご紹介いただける場合には、 読者プレゼント用招待券 をお渡しできます。	
人間国宝・巨匠コーナー	国内外の工芸やデザインを代表する作家の作品を常時紹介するコーナーです。 (テーマ等の詳細は、決まり次第 HP でお知らせします)	
お問合せ: 広報担当 (イベント詳細も広報へお問合せください)		e-mail cg-pr@momat.go.jp

デコハント

～セルフガイドのご案内～

子どもたちが、展覧会をより楽しく、積極的に鑑賞するためのセルフガイドを作りました。

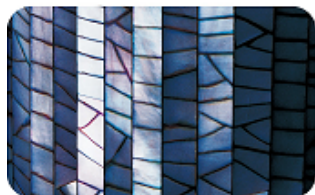
表紙を開くと・・・

6つの窓(フラップ)があります。



フラップをめくると、
こんな感じになります。

クローズアップ写真をヒントに会場で作品6点を探します。これかな?と思うものがみつかったら、チェック項目で確認しましょう。チェック項目は、作品をさらにじっくりみるきっかけであり、それぞれのみどころ紹介でもあります。納得がいったら にチェックを入れます。スタンプラリー形式なので、低学年の子どもたちにも親しみやすく、毎年、多くの来館者にご活用いただいています。配布対象は中学生以下です。



クローズアップ写真

貝でキラキラ
貝がらの内がわのかがやく部分を、うすくけずって使いました。

まっちりならんでしまふよう
小さなかけらをでいねいにはりあわせました。

チェック項目



「どれどれ?」「ふむふむ」「どれどれ?」・・・

裏表紙には、装飾一般についての短いメモとあわせて、2作品分の簡単な技法紹介を記しました。十分にみた、と思ったところで、新たな情報を提供すると、子どもたちの目はまた作品に向かいます。はじめはためらっていた子どもたちも、観察すれば気づくような簡単なことから取り掛かると、次第に発言がスムーズになってきます。子どもたちの思わぬ発見に、大人が作品をみなおすこともあるほどです。

別紙「セルフガイド活用のヒント」(アドバイスシート)には、子どもたちのさらなる好奇心を引き出すために、チェック項目のより詳細な内容や、作者について、また、豆知識などをまとめました。

広報用図版は下記7点。ご希望の際は、請求票をFAXしてください。



年 月 日 ()

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当行>>>

請求票 「No.」に _____ をつけてご送信ください。

No.	作家	作品	制作年	(TITLE)
1	初代宮川香山	鳩桜花図高浮彫花瓶	c.1871 ~ 82	Vase in relief, doves and cherry blossoms design
2	三代宮田藍堂	蠟型鍍金装身具 美豆波乃女 1	1977	Ring, "Nymph 1", gold, lost-wax casting
3	ルネ・ラリック	ブローチ 桑の木と甲虫	c.1900	Brooch, Mulberry Tree and Beetles
4	芹沢銈介	木綿地藍染いろは文着物	1961	Kimono, Japanese syllabary design, stencil dyeing on cotton
5	松田権六	獅子蒔絵香盒	1916	Incense case, lion design, <i>maki-e</i>
6	十二代今泉今右衛門	色鍋島緑地更紗文八角大皿	1974	Large octagonal dish, blue calico pattern on green ground, Nabeshima ware
7	黒田辰秋	螺鈿白蝶縞中次	c.1974	Tea caddy, stripe pattern, <i>raden</i> inlay
8	デコハント(工芸館が制作したセルフガイドの現物をお送りします)			

作品図版はJPGデータをご用意しています。その他の形式については、事前にご相談ください。
 展覧会広報にのみご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
 掲載見本を広報担当へご寄贈くださいましたら幸いです。

読者プレゼント用チケット 希望枚数 _____

ご担当者名 _____ e-mail _____

貴社名 _____

出版物・放送番組・サイト名 _____
 (http://www. _____)

掲載予定号・発行日 / 放送・UP日時 _____

PHONE () _____ FAX () _____